

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公開番号】特開2017-140079(P2017-140079A)

【公開日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2017-031

【出願番号】特願2016-21770(P2016-21770)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 B

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月26日(2019.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

設定値表示手段と、

設定変更スイッチと、

設定値情報を記憶可能な設定値情報記憶手段と、を備え、

設定確認モードでは、設定値情報として「0」が記憶されている状況下において、前記設定値表示手段に「1」に対応する情報を表示可能とし、

設定確認モードでは、設定値情報として「N」(但し、Nは数値)が記憶されている状況下において、前記設定値表示手段に「N+1」に対応する情報を表示可能とし、

設定変更モードでは、前記設定変更スイッチの操作に基づいて前記設定値表示手段に表示されている情報を切り換えることが可能であり、

設定変更モードを実行するとき、最初に前記設定値表示手段に「X」(Xは数値)に対応する情報が表示され、前記設定変更スイッチの操作に基づいて前記設定値表示手段に「Y」(Yは数値)に対応する情報が表示されている所定の状況下において、設定変更モードの実行中に電源スイッチがオフにされ、再度、設定変更モードを実行するときにおいて、前記設定値情報記憶手段に記憶されている設定値情報が初期化されなかったときには、前記設定値表示手段に「X」に対応する情報が表示可能となるように構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明に係る遊技機は、設定値表示手段と、設定変更スイッチと、設定値情報を記憶可能な設定値情報記憶手段と、を備え、設定確認モードでは、設定値情報として「0」が記憶されている状況下において、前記設定値表示手段に「1」に対応する情報を表示可能とし、設定確認モードでは、設定値情報として「N」(但し、

Nは数値)が記憶されている状況下において、前記設定値表示手段に「N+1」に対応する情報を表示可能とし、設定変更モードでは、前記設定変更スイッチの操作に基づいて前記設定値表示手段に表示されている情報を切り換えることが可能であり、設定変更モードを実行するとき、最初に前記設定値表示手段に「X」(Xは数値)に対応する情報が表示され、前記設定変更スイッチの操作に基づいて前記設定値表示手段に「Y」(Yは数値)に対応する情報が表示されている所定の状況下において、設定変更モードの実行中に電源スイッチがオフにされ、再度、設定変更モードを実行するときにおいて、前記設定値情報記憶手段に記憶されている設定値情報が初期化されなかつたときには、前記設定値表示手段に「X」に対応する情報が表示可能となるように構成されていることを特徴とする。

また、本発明に係る遊技機の変形例として、設定値が表示可能な表示手段と、設定値を記憶する第1の記憶領域、及び、設定値を前記表示手段に表示するための情報を記憶する第2の記憶領域を有する記憶手段と、所定の条件を満たしたときに、第1の記憶領域を含む所定の範囲を初期化する初期化手段と、を有し、前記初期化手段により前記記憶手段が初期化された後に、所定の処理を実行する割込処理の実行を許可し、割込処理の実行を許可した後に、設定値を更新可能な設定値変更処理が実行可能に構成され、前記設定値変更処理が開始されると、第1の記憶領域に記憶されているデータを第2の記憶領域に記憶し、設定変更ボタンが操作されたことに基づいて「0」～「N」(但し、Nは1以上の整数)の範囲内で、更新されたデータを第2の記憶領域に記憶し、特定の操作手段が操作されたことに基づいて、第2の記憶領域に記憶されているデータを第1の記憶領域に記憶し、前記所定の処理として、第2の記憶領域に記憶されている値に「1」を加算した値に基づいて前記表示手段に設定値を表示する処理と、第1の記憶領域の値が「0」～「N」の範囲であるか否かを判断し、範囲外であると判断したときはエラー処理と、を実行するように構成することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、本発明に係る遊技機の変形例として、設定値が表示可能な表示手段と、設定値を記憶する第1の記憶領域、及び、設定値を前記表示手段に表示するための情報を記憶する第2の記憶領域を有する記憶手段と、所定の条件を満たしたときに、第1の記憶領域を含む所定の範囲を初期化する初期化手段と、を有し、前記初期化手段により前記記憶手段が初期化された後に、所定の処理を実行する割込処理の実行を許可し、割込処理の実行を許可した後に、設定値を更新可能な設定値変更処理が実行可能に構成され、前記設定値変更処理が開始されると、第1の記憶領域に記憶されているデータを第2の記憶領域に記憶し、設定変更ボタンが操作されたことに基づいて、所定のレジスタに記憶されているデータを「0」～「N」(但し、Nは1以上の整数)の範囲内で更新し、前記所定のレジスタに記憶しているデータを第2の記憶領域に記憶し、特定の操作手段が操作されたことに基づいて、前記所定のレジスタに記憶されているデータを第1の記憶領域に記憶し、前記所定の処理として、第2の記憶領域に記憶されている値に「1」を加算した値に基づいて前記表示手段に設定値を表示する処理と、第1の記憶領域の値が「0」～「N」の範囲であるか否かを判断し、範囲外であると判断したときはエラー処理と、を実行するように構成することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る遊技機を以上のように構成すると、設定変更に関する機能を向上させることができる。具体的には、設定変更モードの実行中に電源スイッチをオフにし、設定変更キースイッチをオンにしたまま電源スイッチをオンにすると、設定変更モードを実行したとき最初に表示される「N」が設定値表示手段に表示されるため、設定変更モードを実行する前に設定されていた値を設定値表示手段で確認することができる。この機能により、例えば不正に設定値が変更されていた可能性がある場合に、設定されている設定値を再度確認する機会を与えることができる。あるいは、設定変更モードの実行中に、誤って電源スイッチをオフしてしまう等の意図しない電源断が発生したときは、設定変更キースイッチをオンにしたまま電源スイッチをオンにすることで、設定値の変更処理を再開することができる。